

## コンクリートの耐久性確保に係る措置について

昭和61年6月2日付建設省住指発第142号による「コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制」、平成元年7月17日付建設省住指発第244号による「アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針」が定められ実施されています。

令和4年1月分の製品の分析結果は下記の通りです。

### 1. コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制

コンクリート1立方メートル中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を0.3kg以下とする。

ベストン中に含まれる塩分濃度	
NaCl	0.002 %
塩素イオン換算値	NaCl × 換算係数
	0.002 % × 0.607 = 0.0012 %
〔注〕0.607は換算係数(Cl/NaCl=35.5/58.5=0.607)	

### 2. アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針

普通ポルトランドセメントを使用する場合、コンクリート1立方メートル中に含まれるアルカリ量(酸化ナトリウム換算)の総量を3kg以下とする。

ベストン中に含まれるアルカリ量	
Na <sub>2</sub> O	0.150 %
K <sub>2</sub> O	1.09 %
Na <sub>2</sub> Oeq	Na <sub>2</sub> O + 0.658 × K <sub>2</sub> O
(R <sub>2</sub> O)	0.150 + 0.658 × 1.09 = 0.867 %

### 3. 単位セメント量を300kgとした場合の計算例

①コンクリート1m <sup>3</sup> 中のベストン量	300 kg/m <sup>3</sup> × 6 % = 18 kg/m <sup>3</sup>
②ベストン中に含まれる塩分	18 kg/m <sup>3</sup> × 0.0012 % = 0.000216 kg/m <sup>3</sup>
③ベストン中に含まれるアルカリ量	18 kg/m <sup>3</sup> × 0.867 % = 0.15606 kg/m <sup>3</sup>

以上

令和4年1月31日

## 分析試験結果報告書

御中

ベストン株式会社

東京都荒川区西日暮里5-2-19

TEL 03-5615-3165 FAX 03-5615-3166



試料番号	CG03357-03358
試験年月	2022年1月
品名	ベストン

分析項目	規格値	分析値	
Ig.loss	6 % 未満	5.00	%
SiO2	70 % 以上	71.6	%
Al2O3	15 % 未満	11.30	%
Fe2O3	5 % 未満	3.65	%
CaO	5 % 未満	1.25	%
MgO	5 % 未満	2.01	%
R2O	1.5 % 未満	0.867	%
NaCl	0.05 % 未満	0.002	%
Na2O		0.150	%
K2O		1.09	%
Cl-		0.0012	%
密度	2.64 ± 0.2	2.69	g/cm3

※注 R2O=Na2O + 0.658 × K2O (%)

Cl- =NaCl × 0.607 (%)

分析試験実施機関

JFEテクノリサーチ株式会社

ソリューション本部(千葉) 本部長 藤本 京子

〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地(JFE千葉構内)

TEL 043-262-2313 FAX 043-262-2199